

# 9月定例会

9月3日～25日

## 東浦町の こんなことが決まりました

### 全会一致で決定した案件

議案番号	議案名	結果
同意 2	教育長の任命について	同意
同意 3・4	教育委員会委員の任命について	
報告 7・8	損害賠償の額の決定及び和解について	承認
報告 9	令和5年度東浦町健全化判断比率及び資金不足比率について	
承認 8	令和6年度東浦町一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認を求めることについて	認定
認定 2	令和5年度東浦町国民健康保険事業特別会計決算の認定について	
認定 3	令和5年度東浦町土地取得特別会計決算の認定について	
認定 4	令和5年度東浦町後期高齢者医療特別会計決算の認定について	
認定 5	令和5年度東浦町水道事業会計決算の認定について	
認定 6	令和5年度東浦町下水道事業会計決算の認定について	
議案 33	東浦町税条例の一部改正について	可決
議案 35	東浦町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	
議案 37	令和6年度東浦町一般会計補正予算(第7号)	
議案 38	令和6年度東浦町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	
議案 39	令和6年度東浦町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
議案 40	令和6年度東浦町水道事業会計補正予算(第1号)	
議案 41	工事請負契約の締結について(石ヶ瀬川ラバーダム通水管復旧工事)	
議案 42	工事請負契約の締結について(勤労福祉会館空調設備更新工事)	
議案 43	工事請負契約の締結について(東浦駅西側駅前広場整備工事)	
議案 44	令和6年度東浦町一般会計補正予算(第8号)	
意見書 案 1	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決
—	議員派遣	

PickUp 1・2

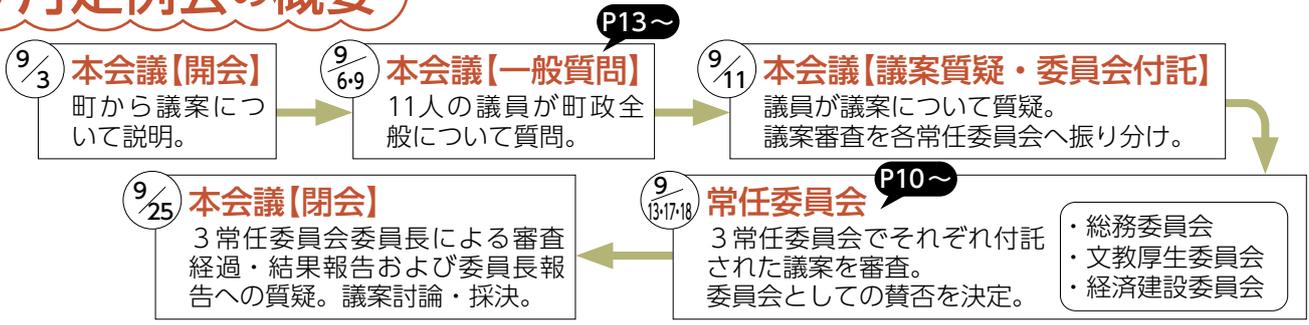
PickUp 3

### 賛否が分かれた案件

議案番号	議案名	結果	親和会					清流会			公明党東浦	農林	民生	環境	福祉	産業	商工	
			鏡味	山下	間瀬	前田	大川	北野	三浦	水野	間瀬	久松	秋葉	赤川	山田	杉下	長坂	森
認定 1	令和5年度東浦町一般会計決算の認定について	認定	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 34	東浦町国民健康保険条例の一部改正について	可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 36	愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について		議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「議」は議長(採決に加わらない)、○は賛成、●は反対

## 9月定例会の概要



**PickUp 1**  
ボランティア活動活発に

地域の公共的な課題解決や、団体等での人材発掘・育成に関する事業等が対象。1団体上限年1回10万円を同一事業に3回まで交付可能。補正予算で増額計上された。

**Q** 申請数は。

**A** 現在12団体が申請。この他に10団体が申請希望を表明している。

**Q** 1000万円増額補正となった経緯は。

**A** 過去の申請実績から当初100万円を計上。しかし、町広報紙やホームページで周知し、町総合ボランティアセンターでも普及啓発を行ったことで、交付金の認知度が高まったため申請する団体が見込みより多くなったと考える。

また、□コミ等での広がりも要因と考えている。

**Q** 5年度に約112万7千円の交付であったが、なぜ当初で多く



計上しなかったか。

**A** 5年度の内訳で申請2〜3年目の団体が8団体あり、6年度は申請しないという団体も多かったため、例年どおりの金額を計上。

しかし□コミ等により広く認知され、9団体が新規での申請となったことで見込みより増えたと考える。

**PickUp 2**  
地域クラブ指導員への4人目からの報償金は

地域クラブ指導者報償金に充当するため、21万6千円を増額補正。当初予算では、クラブ活動に親しむための指導者報償金3人分が計上されていた。

**Q** 参加者の多いクラブは、指導者3人で十分な指導や安全管理ができず、増員していると聞いた。今回の補正予算に4人目からの報償金を含むか。

**A** 地域クラブは、活動に親しむことが目的だが今回は、競技力向上を目指す活動の指導者報償金親しむ活動の4人目からの報償金ではない。

ボランティアの申出があり、4人以上の指導者の参加を認めているが、指導や安全管理ができないからではない。

指導者増員は、指導・安全の効果、費用等を含め慎重に検討する。

**Q** どのような場で検討

をするのか。

**A** 指導者が集まる機会を設け、現状や要望を聴き、慎重に検討したい。

※地域クラブは、令和5年にバスケットボール・ハンドボール・柔道・剣道でスタート。翌年に軟式野球・バレー・卓球吹奏楽が追加された。



**PickUp 3**  
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

すべての子どもたちにゆきとどいた教育を行うために、教員の定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持、国庫負担率2分の1復元にもつての予算を要望。

未来を担う子どもたちが夢や希望をもち、健やかに成長していくことは、国民の切なる願いである。しかし、子どもたちをとりまく教育課題は依然として解決されていない。また、特別な支援や日本語教育が必要な子どもも多く、一人ひとりに応じた適切な支援を行うための十分な時間が確保できない等の課題もある。

また、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は、2分の1から3分の1に引き下げられたままであり、自治体の財政は圧迫されている。教育の機会均等と水準確保のために、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ復元することは、国の大きな責任の一つである。

よって来年度の政府予算編成に十分な教育予算の確保を強く要望する。

提出先 内閣総理大臣他

含めた定数改善計画の早期策定・実施が不可欠である。

